

質問者氏名	質問事項	質問要旨
<p>1 番 村野由紀子</p>	<p>1 箱根火山活動の対策と課題について</p>	<p>27年3月に「大涌谷周辺の観光客等の避難誘導マニュアル」を箱根町及び箱根火山防災協議会は、御嶽山噴火災害の教訓を踏まえ、策定しました。「観光客や住民等の命を守るための対策を最優先とする」ことを基本方針として、今後の箱根火山対策に取り組んでいくことを決定し、最優先課題に大涌谷周辺の観光客等の安全対策を掲げ、本マニュアルを緊急的に取りまとめられました。</p> <p>箱根町では、16年3月に箱根火山防災マップと箱根火山防災マップ作成委託報告書、概要版を作成しております。このまえがきには、「箱根火山の万一の活動に備えて、起こるべき災害や影響を受ける範囲などを想定し、事前の対策を検討すると同時に、町民や観光客に対する広報が重要となってきます。本調査は、箱根火山で起こる異常現象や噴火現象の特性をとりまとめて、住民・観光客に向けた火山防災マップを作成するほか、今後の防災対策を検討するための基礎資料を作成しました」とありました。この報告書の中に、今後の防災課題があります。平成14、15年度の2ヶ年に亘った調査によって、箱根火山の火山活動に伴う危険性について、群発地震、火山ガス、噴火活動（水蒸気爆発）、溶岩の噴出を伴う噴</p>

		<p>火、土砂災害が掲げられておりました。その結果も踏まえて、下記の対応についてお伺いします。</p> <p>① 住民への周知（地域住民に火山防災マップの配布と地区毎に説明会を開催、火山災害に対応した防災訓練と火山災害の認識）について</p> <p>② 観光客への周知（宿泊・観光施設に火山防災マップの配布と掲示、外国人への対応）について</p> <p>③ 庁内への周知（職員に火山災害への危険性等の説明会の実施や噴火を対象とした防災訓練を行い、認識を高める）について</p> <p>④ 群発地震への対策（地震時の情報連絡体制の確立、地震計の増設）について</p> <p>⑤ 初めて、レベル 2（火口周辺規制）になりましたが、職員は初動マニュアル通りできたのか。住民からの問い合わせ対応について</p> <p>⑥ 火山ガスへの対策（観測体制の強化、火山ガス中毒事故防止対策）について</p>
--	--	---